

評価細目の第三者評価結果

1 共通項目

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ－１ 理念・基本方針

Ⅰ－１－（１） 理念、基本方針が確立されている。		第三者評価結果
	Ⅰ－１－（１）－① 理念が明文化されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅰ－１－（１）－② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>教育・保育理念として「子どもの健やかな成長のために保育をし、適当な環境を与え、健全な心身の発達を助長する」「子どもの最善の利益を考慮しその福祉を積極的に推進する」の二つとそれを踏まえて、基本方針「養育と教育が一体となって、豊かな人間性をもった子どもを育成する」「家庭と地域の連携を持ちながら保育にあたる」「地域の子育て支援の為に役割を果たす」の三つが明文化されている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅰ－１－（２） 理念や基本方針が周知されている。		
	Ⅰ－１－（２）－① 理念や基本方針が職員に周知されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅰ－１－（２）－② 理念に基本方針が利用者等に周知されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>理念や基本方針の職員周知については、年度初めに理念・基本方針が記載されているカラー版「園経営構想」を職員全員に配布し、職員会議での話し合い、指導計画の見直しや事業計画の具体的な業務検討の際などの機会をとらえて説明がなされ、振り返りをする等して周知を図っている。</p> <p>利用者周知については、入園式や保護者会、各種行事等の機会をとらえて、「園経営構想」図を配付し、保護者に説明をして、理解を促している。「園経営構想」図は玄関、各クラス、遊戯室、事務室等各所に見やすく掲示されている。パンフレット・ホームページにも記載し、広く周知を図っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

I-2 事業計画の策定

I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者評価結果
	I-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。	Ⓐ・B・C
	I-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>中・長期計画については瑞浪市の次世代育成支援対策行動計画後期計画「みずなみ子育て応援プラン」を踏まえて策定されている。また中・長期計画や地域性を考慮した保育サービスの園経営構想に基づき、事業計画（学級経営、保育課程、指導計画、職員育成計画等）が策定されている。今年度は、「心と身体を動かしながら、生き生きと遊ぶ子の育成」を研究主題に公開保育を実施している。</p>		
改善できる点／改善方法：		
I-2-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
	I-2-(2)-① 事業計画の策定が組織的に行われている。	Ⓐ・B・C
	I-2-(2)-② 事業計画が職員に周知されている。	Ⓐ・B・C
	I-2-(2)-③ 事業計画が利用者等に周知されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>事業計画は職員会議等で策定され、実施の段階において、保護者からの意見聴取や行事ごとのアンケート結果を受けて、評価、見直しを行っている。また職員会議等において周知を図るとともに、実施段階において継続的な見直しへの取り組みを行っている。</p> <p>保護者には入園説明会、入園式で事業計画が掲載されている資料を配付しての説明を行っている。2学期にはカラー刷りで具体的な活動の解説も記載された「園経営構想図」を配付し、説明の機会を設けている。園行事等紹介のDVDにも目標や取り組みの視点を織り込み、見ていただき、周知に努めている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。		第三者評価結果
	I-3-(1)-① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	Ⓐ・B・C
	I-3-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	A・Ⓑ・C

<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>園長はその役割を「職務分担表」において明らかにし、年度初めに職員に配付し、毎月の職員会議を通じて考えを表明している。保護者には保育所たよりへの掲載や入所式や各種行事等の機会を捉えての意見表明を行っている。また、研修会の参加等を通じて遵守法令の理解に努め、職員会議や職場内研修を通して職員への周知を図っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>関係法令の保育関係部分の抜粋をコピーする等して遵守法令のリスト化に向けた取り組みに期待する。事業実施根拠となる法規のリスト化をし、一覧性を高めることで職員の遵守すべき法令等の理解の促進につながり、園のリスクマネジメントにも資するものとする。</p>	
<p>I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。</p>	
I-3-(2)-①	<p>質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。</p> <p style="text-align: right;">(A)・B・C</p>
I-3-(2)-②	<p>経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。</p> <p style="text-align: right;">(A)・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>園長は、各種職員会等で指導計画の評価、課題分析を行い、次の計画の見直しに反映させている。今年度は、「心と身体を動かしながら、生き生きと遊ぶ子の育成」をテーマに公開保育を行う等質の向上に向けての取り組みを行っている。また職員のチームワークを重んじ、コミュニケーションの取れる環境整備を行っている。顔が見える関係づくり、全員で検討し一丸となって業務を進める為に全員の机を職員室に設置している。業務についても組織的に取り組み、それぞれ役割を持ち、園の運営、効率化について見直し改善を図っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握

<p>Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。</p>		<p>第三者評価結果</p>
Ⅱ-1-(1)-①	<p>事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。</p> <p style="text-align: right;">(A)・B・C</p>	
Ⅱ-1-(1)-②	<p>経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。</p> <p style="text-align: right;">(A)・B・C</p>	
Ⅱ-1-(1)-③	<p>外部監査が実施されている。</p> <p style="text-align: right;">(A)・B・C</p>	

<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育関係の動向については、各種専門誌から情報収集している。また市担当課、関係機関、地域団体との連携や交流の中で情報収集に努めている。各種行事等での保護者アンケート、保護者会での意見聴取や子育て支援センター「スマイル」を通しての情報等からニーズを把握し、現状分析を行い、保育計画に反映させている。また、経費の節約に心がける等付与された予算の効率的執行に努めている。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

Ⅱ－２ 人材の確保・養成

Ⅱ－２－（１） 人事管理の体制が整備されている。		第三者評価結果
	Ⅱ－２－（１）－① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－２－（１）－② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>人事管理は市に裁量権があるが、園児数、障害児数、支援が必要と思われる児童の数を市へ報告・要求することで人員確保に努めている。人事考課については、市の人事考課基準に基づき、目標管理制度を実施している。職員個々に目標を設定し、自己評価、フィードバック面接を行い、目標達成を指導している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅱ－２－（２） 職員の就業状況に配慮がなされている。		
	Ⅱ－２－（２）－① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－２－（２）－② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>職員の有給休暇の消化率や勤務状況をチェックし、有給休暇を職員が積極的に取得できるよう職員の意向を取り入れながら、運営状況に合わせた職員配置に留意しつつ勤務表を作成している。また職員が相談しやすい職場環境の整備に心がけている。市において各種厚生福利事業及び健康増進事業を実施している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅱ－２－（３） 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
	Ⅱ－２－（３）－① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ

II-2-(3)-②	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	A・ B ・C
II-2-(3)-③	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	A・ B ・C
<p>良い点／工夫されている点： 研修の年間計画が策定され、その中で、各職位別研修等様々な外部研修が実施されている。また、参加した外部研修についてレポートの提出や職員会議等での報告を通して職員全体に周知している。園内研修については、事例研究、公開保育その他各種研究会を実施し、職員の資質向上に努めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法： 研修計画は、職位別や経験レベル別にはできているが、個別に職員の能力アセスメントを行い、個別研修計画を策定するまでに至っていない。今後、個別研修計画について検討されることを期待する。</p>		
II-2-(4) 実習生の受入れが適切に行われている。		第三者評価結果
II-2-(4)-①	実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。	A ・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 実習生の受け入れについては、基本姿勢を明確にし、実習受け入れマニュアルを整備し、受け入れ体制を整えている。各種養成校と連携しながら、事前のオリエンテーション、実習後のカンファレンスや感想レポートを分析し、次年度の受け入れに反映させている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

II-3 安全管理

II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取組が行われている。		第三者評価結果
II-3-(1)-①	緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	A ・B・C
II-3-(1)-②	災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	A ・B・C
II-3-(1)-③	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	A ・B・C

<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>緊急時の安全確保のために、各種緊急時マニュアル(事故防止・保健衛生・感染症・地震防災・不審者対策・個人情報保護等)を整備し、責任と役割を明確にした緊急時管理体制を整えている。各種訓練(防災・避難訓練・不審者侵入時訓練等)を定期的実施し評価、見直しを行っている。事故防止チェックリストでチェックを行い、事故防止に努めている。災害対策については、河川が近い為インターネットで見られるライブカメラを設置している。またお菓子やオムツ、医療器具等の備蓄も整備し、保護者の緊急連絡網をつくり、避難場所も定め、周知している。ヒヤリハット事例を収集し、毎月職員会議で対応策の検討を行い、職員の安全確保に関する意識を高めている。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

II-4 地域との交流と連携

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		第三者評価結果
	II-4-(1)-① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	Ⓐ・B・C
	II-4-(1)-② 事業所が有する機能を地域に還元している。	Ⓐ・B・C
	II-4-(1)-③ ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育の基本方針の中に「家庭と地域の連携を保ちながら保育にあたる」が明確化されている。こぶしの会をはじめ各種の地域団体との交流や小・中学校等との交流や中高生の保育体験の受け入れ等連携があり、保育に生かしている。また、園庭開放、本の貸し出しや併設の子育て支援センターで、子育て相談、出前講座を行うなど地域に関わる事業を展開している。</p> <p>ボランティアの受け入れについては、ボランティア受け入れマニュアルに基づいて受け入れをしている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
	II-4-(2)-① 必要な社会資源を明確にしている。	Ⓐ・B・C
	II-4-(2)-② 関係機関との連携が適切に行われている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>各関係機関との連絡先を明文化し、職員会議等を通じて職員周知を徹底している。また各関係機関、団体(学校、医療機関、民生委員、主任児童委員、老人クラブ、発達相談センター、児童発達支援センター、市担当課、子ども相談センター、警察署、消防署等)との連携が適切に行われ、情報交換の機会を設けている。</p>		

改善できる点／改善方法：

Ⅱ－４－（３） 地域の福祉向上のための取組を行っている。	第三者評価結果
Ⅱ－４－（３）－① 地域の福祉ニーズを把握している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－４－（３）－② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>地域の福祉ニーズの把握については、併設する子育て支援センターの子育て相談等の活動を通して地域の未就園児童のニーズを把握している。また地域の団体、民生児童委員等との情報交換や園庭開放から地域のニーズを把握している。</p> <p>基本方針の中で「家庭と地域の連携を保ちながら保育にあたる」を掲げており、園庭開放、図書貸し出し、併設する子育て支援センターの子育て相談、出前講座等を実施している。今後とも、地域の子育てニーズに対応した継続的な取り組みに期待する。</p>	
改善できる点／改善方法：	

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ－１ 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ－１－（１） 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	第三者評価結果
Ⅲ－１－（１）－① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－１－（１）－② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>「子どもの最善の利益を考慮しその福祉を積極的に推進する」という利用者尊重、利用者本位の理念・方針を「園経営構想」図としてまとめ、職員に配付すると共に毎週全員で唱和し、意識化を図っている。人権擁護の研修に参加し、職員に周知している。支援を要する園児には個別指導計画を策定し、発達を細部まで捉えて保育に当たっている。また性差面からの固定的な対応をしない、文化の違いを認め合い、思いやり・優しい心を育てる保育を大切にしている。</p> <p>トイレ等園児のプライバシーについて設備面の配慮があり、マニュアルも整備している。個人情報の記録の取り扱いやセキュリティ研修に参加している。個人情報の記録管理については園長監督のもと厳重に管理されている。</p>	

改善できる点／改善方法：		
Ⅲ－１－（２） 利用者満足の向上に努めている。		
	Ⅲ－１－（２）－① 利用者満足の上を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
良い点／工夫されている点： 各種行事や年度末のアンケートの実施を通して利用者満足や意向について調査を実施している。また保護者懇談会、日々の送迎時の声かけ等の取組を通して、その都度、保護者の意向をくみ上げ、課題について職員会議で検討し、対応を行う等利用者満足の上に向けた取組を行っている。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ－１－（３） 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
	Ⅲ－１－（３）－① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－１－（３）－② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－１－（３）－③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
良い点／工夫されている点： 苦情相談受付担当者、解決責任者を決め、入園時に説明し、文書を保護者に配布している。いつでも相談を受けることを機会を捉えて説明している。第三者委員を設置して担当者・相談電話番号を明記し、登園口と遊戯室に掲示している。相談解決の仕組みについても分かりやすく一連の流れを掲示する等保護者への周知を図っている。相談は机や衝立でスペースを作り、相談の受け方対応についてのマニュアルを作成し、対応している。保護者からの意見には職員会議で検討し、速やかに対応し、フィードバックする一連の流れができています。今後とも継続してマニュアルの定期的な見直しに取り組んでいただきたい。		
改善できる点／改善方法：		

Ⅲ－２ サービスの質の確保

Ⅲ－２－（１） 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。		第三者評価結果
	Ⅲ－２－（１）－① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ

<p>Ⅲ－２－（１）－② 評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>良い点／工夫されている点： サービスの質の向上に向けた取り組みとして、職員の自己評価を行い、評議員の評価を受け、職員会議等で分析検討して課題を明確にし、改善に取り組んでいる。また今年度は岐阜県福祉サービス第三者評価を受審し、この作業を通じて課題を把握し、改善方法を職員会議等で検討し、改善策の実施状況について見直しを行う等園の経営構想と研究構想に位置づけられた一連のPDC Aサイクルの継続により保育サービスの質の向上への取り組みを行っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

<p>Ⅲ－２－（２） 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。</p>	<p>第三者評価結果</p>
<p>Ⅲ－２－（２）－① 提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>Ⅲ－２－（２）－② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>良い点／工夫されている点： 個々のサービスの標準的な実施方法については、各種マニュアルを作成し職員会議等で周知に努めている。標準的な実施方法（保育課程）については「保育所保育指針」に基づき、保護者の意向を踏まえて、各担任が年齢別指導計画、障がい児個別指導計画を策定し、職員会議で子ども一人ひとりの個別指導記録から実施についての検証を行っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>Ⅲ－２－（３） サービス実施の記録が適切に行われている。</p>	
<p>Ⅲ－２－（３）－① 利用者に関するサービスの実施状況の記録が適切に行われている。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>Ⅲ－２－（３）－② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>Ⅲ－２－（３）－③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>

<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>サービス実施の記録については、個別指導記録に子ども一人ひとりの発達の経過状況や生活状況等が詳細に記録されている。個人情報保護に関するマニュアルが整備されており、記録の管理体制については、鍵がかかる書庫において厳重に保管・管理され、市の規程に基づき、記録の保管、保存、廃棄を行っている。個人情報保護に関する研修に参加し、伝達報告等職員周知を図っている。少人数の職員であり、かつ職員室に職員の机があることで、記録作業や情報共有としてケース会議の開催を効率的に、かつ容易にしている。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

Ⅲ－３ サービスの開始・継続

Ⅲ－３－（１） サービス提供の開始が適切に行われている。		第三者評価結果
	Ⅲ－３－（１）－① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－３－（１）－② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>園の案内、幼稚園の紹介リーフレットを作成し、併設の支援センターやコミュニティセンターに置いている。コミュニティセンターでは毎月のおたよりを掲示し紹介している。子どもの様子を分かり易く紹介したホームページやDVDも製作、園の説明会には活用する予定であり、見学・体験希望者には常時対応している。入園希望者には、保育理念、基本方針、入園手続き、保育内容や利用料等の説明を行い、同意を得ている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅲ－３－（２） サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		
	Ⅲ－３－（２）－① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>卒園児については、入学する小学校に保育所児童保育要録を送付している。特に支援が必要と思われる子については、支援の引き継ぎ書を作成し、子どもの育ちの継続が保障されるようにしている。また保育終了時にその後も相談が可能であることを説明し、サービスの継続性に配慮した対応を行っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅲ－４ サービス実施計画の策定

Ⅲ－４－（１） 利用者のアセスメントが行われている。		第三者評価結果
	Ⅲ－４－（１）－① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>利用者のアセスメントについては、市の共通様式（家庭状況、成育歴、心身状況等）を使用して決められた手順に従ってアセスメントが行われている。入園前は、家庭調査表により、アセスメントし、個別記録票に記載している。入園後の子ども一人ひとりのニーズや課題は、保護者からの書面、懇談会、送迎時、連絡帳等で把握している。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ－４－（２） 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		
	Ⅲ－４－（２）－① サービス実施計画を適切に策定している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－４－（２）－② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>サービス実施計画の策定については、アセスメントに基づいて子どもの発達状況、子ども一人ひとりのニーズ、保護者の実態や課題を明確にし、保護者の意向を踏まえて、職員会議で検討し、指導計画（年計画、学級経営案、月案、週案）を作成している。気になる子に対しては「CLM(check list in mie)三重県立小児診療センターあすなろ学園様式」を活用しながら、適切な保育を行っている。指導計画は、職員会議で定期的に評価分析を行い、見直しを行っている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

評価細目の第三者評価結果 (児童分野 保育所)

評価対象Ⅳ 保育所保育の基本

Ⅳ－１ 養護と教育の一体的展開

	第三者評価結果
Ⅳ－１－（１）保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 教育・保育理念、基本方針や目標に基づき、地域、子ども、保護者、そして当園の実態を踏まえて、目標とする子どもの姿を職員全員で考え、保育課程を編成している。また毎月のカリキュラム研究会で見直し、年間計画、学級経営案や月案を改善している。</p>	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－１－（２）乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 朝夕に検温、視診し、また午睡についてもチェックし、表に記入している。特に0歳児の食事内容については詳しく連絡ノートに記載し、保護者に伝えている。天気の良い日はなるべく戸外での活動を行い、支援センター「スマイル」の子どもたちと共有の手作りおもちゃ(テラスのパイプの足ふみ)で遊んでいる。室内には安全面に留意した手作りのおもちゃが多くあり、安心して遊ぶことができるよう配慮している。</p>	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－１－（３）1・2歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 朝の体操時間には積極的に異年齢児との交流を持っている。併設の子育て支援センターの保育士から手作りおもちゃのアイデアを聞き、ペットボトルをつないだトンネルに玉を転がす遊びやパイプの橋を渡ってバランス感覚を育てる遊具など体幹を育てる運動遊びを取り入れている。基本的な生活習慣についてチャレンジ表を一人ひとりについて作成し、身につけることで達成の励みとしている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－１－（４）3歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 基本的な生活習慣を定着させるように、入園から卒園までのプランとして園で統一した手順表を作成したり、各年齢ごとに登園時、保育室の入口にやるべきこと(カバンを置く、タオルをかける、連絡ノートを出す等)についてカードにして知らせている。子どもたちのねらい、目標について保育士がどう関わっているか、CLM(早期発見、支援、発達チェック表)や園内研修等で振り返り、共通理解をしている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－１－（５）小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかわりに配慮されている。	(A)・B・C

<p>良い点／工夫されている点： 就学を前にした年長児は小学校の授業を見学したり、小学校生活に慣れるよう小学校で借りた椅子を使用した り、小学生とドッジボールをしたりする等積極的に交流を行っている。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

IV-2 環境を通して行う保育

	第三者評価結果
<p>IV-2-（1）生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。</p>	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 広いテラスには、遊びのコーナーが作られ、全員が好きな遊びに参加できるようにしている。遊びには季節の物を取り入れ、既存の玩具にとらわれない様々な遊具(手作りの物、廃材利用等)を使用できるように努めている。また手洗い場やトイレは新しくリフォームされ、壁は木製で清潔で柔らかい環境作りとなっている。すべての子どもを全職員で見ているという考えのもと、その時々の子どもの様子を観察し、子どもたち同士が交流して遊びが発展していけるよう配慮している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>IV-2-（2）子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。</p>	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 基本的な生活習慣が身につくよう、一人ひとりの育ちに合わせ、保護者と協力をしながら対応している。トイレトレーニング、衣服の着脱、所持品の始末等、少しずつできた喜びが自信となり、次の意欲につながり、回数を重ねることで身につくような保育を行っている。毎日の生活の中で子どもたちが無駄な動きをしないように家具の配置や所持品も始末しやすいように配慮している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>IV-2-（3）子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。</p>	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 異年齢のペアで行動をする機会を増やしている。また保育士自身が子どもたちの手本となるよう、元気な挨拶をしたり、適切な言葉がけに気をつけたりしている。たとえば、園外では地域の方に野菜の育て方を聞く等して積極的に声をかけている。子ども同士のけんか等のトラブルは成長のチャンスとして捉え、前向きにじっくり取り組んでいる。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>IV-2-（4）子どもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような人的・物的環境が整備されている。</p>	(A)・B・C

<p>良い点／工夫されている点： 地域の人々とは日常的にふれあう機会が多く、たとえば、ひなたぼっこの会(老人会)と交流をすることで昔の遊びを教えてもらう体験をしたり、カブトムシの幼虫や鈴虫をわけてもらい、飼育をする等地域の人々との交流が多い。園周辺には野鳥が多く生息し、渡り鳥がいると近くの「自然ふれあい館」の職員から連絡が入り、野鳥観察に散歩に出かけたりしている。また春には草花観察をしたり、近くの竜吟の滝、竜吟湖の観察も行っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>IV-2-(5) 子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。</p>	<p>(A)・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 毎週、読み聞かせの時間を設けている。その中で文字や言葉に興味を持てるように工夫している。保育室の中には声の大きさを図に示し、人の話を聞く時、呼ぶ時等の声の強弱を目で見てもわかりやすく掲示している。自然物を使った楽器でリズムに合わせて楽しんだり、テラスにCDを準備して、いつでも歌ったり、踊って楽しむことができる環境を整備している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

IV-3 職員の資質向上

<p>IV-3-(1) 保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。</p>	<p>第三者評価結果 A・(B)・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 全職員で全園児を保育していくという考えのもと、子どもの姿をとらえ、保育士それぞれの保育実践について話し合っている。また園内研修会では他のクラスの保育を見学することで、自らの保育のふりかえりの場となっている。自己評価については毎年、自己評価ガイドラインに基づいて、4月に目標設定をし、10月に面接、振り返りと見直しを行い、年度内に市に提出している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法： 自己評価ガイドラインを活用して、ふりかえりを行っているが、保育士それぞれが次のステップに進む内容で過程がとらえられているかとの観点で園長の的確な助言、指導へとつなげるために、また経験の浅い保育士に現場で主任がしっかり指導する等して精神面での援助を行うためにも自己評価の中間での見直しが大切である、と考える。</p>	

評価対象V 子どもの生活と発達

V-1 生活と発達の連続性

<p>V-1-(1) 子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。</p>	<p>第三者評価結果 (A)・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 子どもの声、気持ちを何より優先して対応する姿勢で援助している。子どもの要求に対してどんな時でもその時の子どもの気持ちについて考える保育を行っている。またCLM事例研修を行い、理解を深め、的確な援助ができるよう努めている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>V-1-(2) 障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。</p>	<p>(A)・B・C</p>

<p>良い点／工夫されている点： 子ども一人ひとりに個別指導計画を作成し、保護者、病院、専門機関等と連携を図り、助言指導を受けながら、保育を行っている。また支援を要する子については副担任がつき、育ちについてもカリキュラム研究会で話し合いながら、職員全員で共通理解している。時計、折り紙工程表、手に馴染んで、精神的に落ち着く小物等支援グッズを工夫したりしている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>V-1-(3) 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 異年齢の子どもたちが触れあうように遊びの内容を考え、落ち着いて安心できる雰囲気心がけている。保護者との連携を密にするよう、担任が毎週、園の様子を伝えている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

V-2 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場

<p>V-2-(1) 子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。</p>	<p>第三者評価結果 Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 登降時の健康チェック(検温)や、歯科、内科検診で年2回の健康指導を行ったり、命を守る訓練(防犯、交通指導)を行ったり、怪我や事故に対してはヒヤリハットを作成する等、事故の検証と対応に努めている。流行性疾患については、発生した場合は掲示で通知することとしている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>V-2-(2) 食事を楽しむことができる工夫をしている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 園で採れた野菜をホットプレートで焼いて食べたり、天気の良い日は戸外で炭火でカレークッキングをしたりと給食以外でも食事を楽しむ機会を作っている。保育室には赤、黄、緑に色分けした表が掲示してあり、子どもたちが食物に関心を持つようにしている。毎月展示食のレシピを作ったり、栄養士が「いただきます」の便りを発行し、保護者に食の大切さを伝えている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>V-2-(3) 乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 子どもたちが食べたくなるような盛り付けを工夫したり、食べやすいように細かくしたり、温めたりと配慮している。「ぴかぴかのお皿運動」では箸の使い方、挨拶、マナー等職員会で話し合い、食事に関するテーマを決め子どもたちに伝えている。リクエスト食を月1回取り入れている。また参観日には保護者にも採れたての野菜をホットプレートで焼いて試食をしてもらっている。展示食の時には調理員が説明、質問に応える等対応している。</p>	

改善できる点／改善方法：	
V-2-(4) 健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	(A)・B・C
良い点／工夫されている点： 健康診断や歯科健診の結果について医師の話をまとめ、結果とともに保護者に伝えている。今年度は親子で「染めだし」が行われたとのことで、親子で歯科の健康に対する意識を高めるよう促す姿勢が感じられた。	
改善できる点／改善方法：	

V-3 健康及び安全の実施体制

V-3-(1) アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	第三者評価結果
	(A)・B・C
良い点／工夫されている点： 現在はアレルギー疾患を持つ子どもはいないとのことであるが、保育士が適切な対応ができるような体制ができています。	
改善できる点／改善方法：	
V-3-(2) 調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	(A)・B・C
良い点／工夫されている点： 衛生管理マニュアルがあり、マニュアルに従って調理場等の消毒・掃除等を行っている。園長が最高責任者としてリーダーシップを果たしている。	
改善できる点／改善方法：	

評価対象VI 保護者に対する支援

VI-1 家庭との緊密な連携

	第三者評価結果
VI-1-(1) 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	(A)・B・C
良い点／工夫されている点： 参観日には畑で採れた野菜の試食会を行ったり、給食日より「いただきます」の発行、給食試食会や給食展示をする時の事前のレシピの配付をする等、保護者に食育について関心を持ってもらえるような取り組みを行っている。また子どもには畑で収穫した野菜からどんな料理ができるかを保護者と一緒に考えてもらったり、クッキングの事前準備時に包丁の使い方を家庭で練習してきてもらう等して子どもと保護者が一緒に食育に取り組めるような企画を考え、実施している。	

改善できる点／改善方法：	
VI-1-(2) 家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>送迎時、園長や主任が門で、担任は保育室テラスで保護者に声をかける等、保護者が気軽に話せるように配慮している。また病気、怪我などで欠席した翌日は必ず登園時に保護者とコミュニケーションを取れるように朝礼で全職員に伝えている。また絵本の貸し出し日は保護者と個別に対話ができる機会でもあるので、園長、主任も参加し保護者とのコミュニケーションに心がけている。支援の必要な子についての保護者からの相談にも対応している。</p>	
改善できる点／改善方法：	
VI-1-(3) 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育参加では活動のねらいを明確にし、行事ごとにアンケートを取り、保護者の声を保育に反映させている。参観日には行事のDVDを見てもらい、子どもの様子を伝えている。また絵本の貸し出し日には園長が本の読み聞かせを行い、その中で保護者とのコミュニケーションの場として園と保護者との共通理解が持てるようにしている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
VI-1-(4) 虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>虐待と疑われる子は今のところいないが、虐待に関するマニュアルがあり、登園時間の検温、視診で確認したり、朝食を食べてきたかどうかの問いかけや、衣類の着替え、身体測定での傷の有無等、日常的にチェックをし、早期発見に努めている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

評価対象Ⅷ 個別サービス着眼点（岐阜県独自項目）

Ⅶ-1 安全管理面でのサービス

	第三者評価結果
Ⅶ-1-(1) 外部からの侵入に対する対応策がとられている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>防犯訓練は年間計画に基づき実施し、役割分担を明確にしている。不審者情報については教育委員会や市担当課からのメールで知ることができる。</p>	
改善できる点／改善方法：	

Ⅶ-2 保護者とのコミュニケーション

	第三者評価結果
Ⅶ-2-(1) 保護者の保育参加を促すような工夫をしている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 行事については年間計画で知らせたり、園だよりには翌月の行事内容について情報を載せ、予定を立てやすくするよう配慮している。行事や懇談会に参加できなかった保護者には都合に合わせ、DVD等でその時の様子を見てもらっている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
Ⅶ-2-(2) 保護者会組織等への活動の援助や意見交換を行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 保護者会では、園の方針や現状を伝え、意見交換を行い、運動会、クリスマス会のプレゼント、卒園記念日等の活動について園と保護者会が共通認識を持つようにして取り組んでいる。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

Ⅶ-3 保育所・幼稚園・小学校との連携

	第三者評価結果
Ⅶ-3-(1) 保育所・幼稚園・小学校との連携した取組を行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点： ほとんどの子が同じ小学校に進むので地元の小学校とは親しみを持って交流している。支援のいる子については十分に引き継ぎを行い、不安を無くすよう努めている。小学校の行事には積極的に交流するようにしている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	